

マイナス金利は わが預金にも及ぶのか

スイス、「全預金者に負担」 大幅なマイナス金利導入先行

スイスの小銀行オルタナティブ・バンクは、今年1月世界で初めて全預金者に0.125%のマイナス金利を導入した。

中央銀行のスイス国立銀行が民間銀行から受け入れる預金に課すマイナス金利幅を0.75%（日銀は0.1%）に拡大したためだ。

さらに、一定額以上の預金量の顧客に手数料を課すなど、銀行がコストを転嫁する動きは、金融大手UBSなどに広がっている。

ある年金基金はマイナス金利を避けるために6000万スイスフラン（約63億円）を現金で引き出した

運用成績を上げるために新興国債券や不動産など、損失の恐れの大きい投資を増やす基金も多い。制度破綻を避けるために支給額削減なども急務。

しかし、中銀に政策転換を求める声は少数。スイス経済の時計など輸出産業を守るためのスイスフラン高回避が最優先事項だからだ。

しかし、さらに利下げすれば、預金流出の危険が高まる。

マイナス金利は 民間銀行に対する懲罰

民間銀行は貸し出したいのだが、デフレ不況のため、貸し出す相手がいない。しかし、中央銀行から懲罰的マイナス金利を課されるので、仕方なく、預金者へ負担せざるを得なくなった、ということ。

マイナス金利と量的緩和だけでは デフレはおさまらない

マイナス金利と量的緩和で国債は投機商品化

この2つで確かに金利を低下させることはできたが、貸し出し（投資）は増えずに、内部留保だけ増加

したがって、賃金も伸びない

なぜなのか？ その理由は、簡単明瞭！ 肝心の『需要』がないため

では、どうすれば『需要』は作り出せるのか？

『需要』は日銀では作れない！！

日銀だけで、デフレ脱出は不可能

デフレで、民間に投資意欲のない時は、

政府が率先して需要を作り出さなければならない

そんな需要はどこにあるの？
なんてノンキなこと行ってる場合じゃない

必要なものは、近くにいくらでもある。例えば

大雨が降れば洪水、堤防決壊、氾濫、土砂崩れ、橋の崩壊などなど

保育施設も不十分、老人ホームも足りない……

財政出動

日常生活の安全確保

全国の河川堤防改修、整備

全国の橋梁改修、整備

全国の砂利道の舗装化

全国の土砂崩壊危険・警戒区域改修、整備

社会福祉施設・労働条件の整備・充実・新增設

保育施設の整備・充実・新增設

老人ホームの整備・充実・新增設

その他、必要な公共投資は、いくらでもある

財源は、建設国債の発行

いまや市場は量的緩和のおかげで国債枯渇
建設国債発行には絶好のタイミング！

デフレ脱出→インフレ指向 促進効果もあり
国債発行は
まさに一石三鳥の好手

- ① 日常生活安全確保
- ② 国債市場改善
- ③ デフレ脱出促進

ガンは財務省の緊縮財政方針
平成20年までに財政収支の均衡を図る
この方針を撤回させることが急務